

JREL 情報

仙台地本

J R 東労働組合仙台地方本部情報

2020年6月 8日

発行責任者 武田 浩之

編集責任者 情 宣 部

No.044

期末（夏季・年末）手当 満額獲得！ 6. 3 県別集会開催！！（山形県側）

6月3日、「期末手当満額獲得！県別集会」を3県で開催、山形県は霞城公民館で開催しました。

主催者を代表して斎藤副委員長が①組合員の生活実感の声からひがし労としての要求額を決定してきたこと②期末手当要求に見える他労組の御用組合化と犯罪性③コロナ禍において積み上げてきたひがし労4つの運動の現段階の成果と課題、要求獲得のたかひがしを組織強化拡大に繋げていく3点について挨拶しました。



職場では「厳しいですよ」の声。夏冬同時要求のことを知らない人もいます。同時要求は大きい。しっかり伝えていく！

消費税増税で苦しくて、コロナで不安な中、頑張っているのは俺たち！会社はボーナスで応えるべきだ！

「ひがし労以外の要求が低い」と未加入者からも声が出ている。

フリートーク

経営陣は「お金はあります」と言っている。大震災でも内部留保金は出さなかった。内部留保は2兆円を超えている。役員報酬下でアピールし、私たちのボーナスを下げるなんてあってはならない！

会社はコロナを利用して施策を進めようとしているように感じる。テレワーク、自宅待機でどのような会社指示が出されているのか検証したほうがいいと思う。

最後に、横山業務部長が「大事なものは、職場で自分の言葉で話して、相手に伝え考えて貰うこと」と訴え、園部中央執行委員が「期末手当獲得の闘いは組織強化の闘い。議論を通じて組織を強化しよう」とまとめました。

これからコロナ対応の影響で先行きは益々混沌としていくことが予測されます。「期末手当満額獲得！」今後の厳しい闘いを乗り越えるために組織強化拡大を職場から勝ち取っていきましょう！

我々の労苦に報いるには満額回答しかない！！